

平成29年度大型再処理施設放射能影響調査事業評価結果
(大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会)

調査事業名	総合評価
①環境影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>畑や牧草地への放射性物質の蓄積や、県産物への放射性物質の移行プロセスの解明、周辺住民の施設由来被ばく線量など、幅広く、地域生産者にとっても興味深い研究が着実に進められている。特に、安定同位体を用いた人体内代謝モデルの作成のための調査は社会的・学問的に貢献しており、ICRPのモデルに取り入れられることを期待する。</p> <p>また、研究者のみならず、地域住民に対しても、分かり易い情報発信及び成果や知見を活かした放射線等に関する知識の啓発活動に継続して取り組むことを期待する。</p>	
調査事業名	総合評価
②環境影響に関する調査研究 (公益財団法人日本海洋科学振興財団委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>海洋での放射能移行に関して精密なモデルの構築と観測データによる実証がなされており、実施計画に基づき着実に進められている。特に、密度構造の変動特性を明らかにしたことは、海洋における放射性物質の拡散の推定における重要なデータであると考えられる。今後は、他機関での測定結果とも比較検討することで、より幅広い研究となることを期待する。</p> <p>また、研究者のみならず、地域住民に対しても、分かり易い情報発信及び成果や知見を活かした放射線等に関する知識の啓発活動に継続して取り組むことを期待する。</p>	
調査事業名	総合評価
③生物影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>低線量での生物実験としては、他ではなかなか得られない非常に重要で貴重な成果であり、これからも続けて成果を出すことを期待する。また、総説(IJR B 9 4巻)を出したことは国際的にも高く評価できる。</p> <p>年次計画では平成31年度に概ねの研究結果が得られる見通しであることから、成果を取りまとめた際は、情報発信に鋭意取り組むことを期待する。</p>	
調査事業名	総合評価
④小児がん等がん調査事業 (青森県健康福祉部所管事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>平成12年からの長期にわたる地道なデータの蓄積により、大変貴重で先駆的なデータが着実に蓄積されている。調査結果は「青森県がん情報サービス」として、インターネットにて本調査結果の公表と併せて、がんの予防、検診、治療等が総合的にわかりやすく広く公表されている。今後とも調査・公表が引き続きなされることを期待する。</p>	

(参 考)

評価の視点	評価の尺度
(1) 優れた研究成果が上がっているか？ (2) 地域の期待に応えているか？ (3) 社会的ニーズに合致した成果が挙げられているか？	<p>S：想定を上回る優れた成果を上げている。</p> <p>A：基本計画及び実施計画に基づき着実に成果を上げている。</p> <p>B：基本計画及び実施計画通りに成果を上げているとは言えない面もあるが、今後の取組みにより基本計画及び実施計画に基づく成果を達成し得ると考えられる。</p> <p>C：基本計画及び実施計画に基づき成果を上げるためには、実施方法等の大幅な見直しが必要である。</p>